

子ども主体の防災訓練マニュアル

手順 1 準備 危険な場所・安全な場所を可視化

チェック

- ① 保育室、園庭の危険な場所・箇所をチェックする
 - 地震の揺れで倒壊、落下する可能性がある物などを保育者が確認。
 - 落下物を最小限にし、可能な限り安全な環境を整える。
- ② 危険な場所に「あぶないよ！」ステッカーを貼る
 - 危険な場所・箇所に「あぶないよ！」ステッカーを貼る。
 - 安全な場所にはテープで「あつまれ！」区域をつくる。
- ③ ステッカーを貼った場所がなぜ危険かを子どもに説明
 - 「棚が倒れる」「物が飛んでくる」など、危険な理由を具体的に伝える。
 - できれば子どもと一緒に危険・安全な場所を探し、子どもの意識を高める。

手順 2 基礎訓練 地震発生時をシミュレーション

チェック

- ① 転倒物の「横」に移動して身を守る
 - 棚の模型や大きめのクッションなどを使い、転倒物が倒れる方向を確認。
 - 転倒物の「横」に逃げるのが安全であることを知り、身を守る練習をする。
- ② 身近にある物で頭を守る
 - 「地震だ！」の掛け声とともに、安全な場所に移動する。
 - 身近にある物で瞬時に頭を守る。探そうとせず、手や腕で頭を守る練習も。
- ③ ダンゴムシのポーズを練習
 - 「ダンゴムシに変身！」の掛け声とともに、ダンゴムシのポーズを練習。
 - 練習を重ねたら、園庭や園外などでも行い、正しいポーズを確認。

手順 3 応用訓練 抜き打ちで訓練を繰り返す

チェック

- ① 保育中に抜き打ちで訓練を行う
 - 「地震だ！」を合図に、いつでも基礎訓練①②③ができるよう伝えておく。
 - ホール、園庭などさまざまな場所で、抜き打ちで訓練を始める。
- ② 抜き打ち訓練の様子を保護者に見てもらおう
 - 保育参観など保護者が集まった際に、園の防災指導について保護者に説明し、抜き打ち訓練を行う。
 - 園の防災指導について保護者に説明し、保護者の防災意識も高める。